

き かく ちょう せい ぶ
企画調整部



ぶん かい ぶん ぶ
文化遺産部



けん ぎょう し えん すい しん ぶ
研究支援推進部



と じょう ぼく ぐつ ちょう せい ぶ
都城発掘調査部

まい ぶつ ぶん かい ざい
埋蔵文化財センター

な ら ぶん かい ざい けん きょう しょ
奈良文化財研究所

<http://www.nabunken.go.jp>

〒630-8577

所在地 奈良市二条町 2-9-1

TEL 0742-30-6733

FAX 0742-30-6730

へい じょう きやう せき し りやう かん
平城宮跡資料館

公開 休館日を除く毎日 9:00~16:30
※入館は 16:00 まで

観覧料 無料

休館日 月曜、年末年始

※月曜が祝日の際は、その翌日

問合せ 奈良文化財研究所 連携推進課

0742-30-6753

ふじ ώρα きやう せき し りやう かん
藤原宮跡資料室

公開 休館日を除く毎日 9:00~16:30

観覧料 無料

休館日 土曜、日曜、祝日、年末年始

問合せ 都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区

0744-24-1122

あす か し りやう かん
飛鳥資料館

公開 休館日を除く毎日 9:00~16:30

※入館は 16:00 まで

観覧料 個人:一般 260 円 大学生 130 円

団体 (20 名以上):

一般 170 円 大学生 60 円

※高校生および 18 歳未満無料

休館日 月曜、年末年始

※月曜が祝日の際は、その翌日

問合せ 飛鳥資料館 0744-54-3561



なぶんけん
奈文研
たんけん!

なぶんけん
って
なんだろう?



な ら ぶん かい ざい けん きょう しょ
独立行政法人 奈良文化財研究所
国立文化財機構
絵/上村恭子

へい じょう きゅう せき
平城宮跡
だい ごく でん
大極殿

おお
すごく大きいね！
あれが
だいごくでん
大極殿かあ！

へいじょうきゅうせき
ここは平城宮跡。
なら じ だい みやこ
奈良時代の都が
あったとこやで。

だい ごく でん
あの大極殿は
むかしのことを調べて
あた たら
新しく建てられた
ものやねん。

へえー！そうなんだ！
どうしてむかしのことが
こんなにくわしく
わかるんだろう？

ふくげん
復原された
だいごくでん
大極殿は
たか さが約 27m
あんなんで。

なな かい
7階建ての
ビルくらい？
やっぱり
高いなあ！



どうして
むかしのことが
わかるのかなあ？

さっそく
たんけんや！

しらべてわかったことを
みんなに伝えるのも
だいじな仕事です。

しりょうかん
資料館や
ホームページで
見られるん
だって！

ちがうよ～。
調査の記録の
ために
撮ってるんだよ。

高いところ
から
記念写真？

土の中が
わかる機械やねん。
海外では、地雷を
探すのにも
使われてるねんて。

なるほど！
残ってるモノは、
こうやって
調べるんだね。
でも残ってないものは
もうわからないよね？

うわあ！
たくさんの人で
土を掘っている
なあ！

これは
発掘調査やで！
遺跡を
掘り出して
るんや！

そんなことないで。
残ってないモノも
ちゃあ～んと
調べる方法は
あんねんで～！

瓦は紙を当てて
形を
写しとります。

出てきた
土器は
測ります。

奈良時代の土器

むかしの人が
書いたものを
読んでる
んだね。

お庭の
つくりを
記録して
んねん。

たんぼや山の
景色も、
人が時間をかけて
つくった
ものなんだよ。

年輪で
いつのものか
わかるんだ！

字が書い
ある。
そ
木簡
こ

遺跡から
出てきた骨と
今の動物の
ものとくらべて
何の骨か
調べんねん。



なるほど！
出てきた骨で
むかしのくらしが
わかるんだね。

なぶんけん
いうても
奈良だけ
ちゃうで～！

日本全国、さらに海外でも
活躍しています！

カンボジアの
アンコール遺跡群の
調査とか…



技術を伝えるための
研修もどんどん
おこなっています！



でっかい
ものさし！

調べ終わったら
埋め戻して
キレイに
すんねんで。

わかったことは
いろんなところで
活かされて
いるんだね！

こうやって
むかしのことを
調べているんだ！

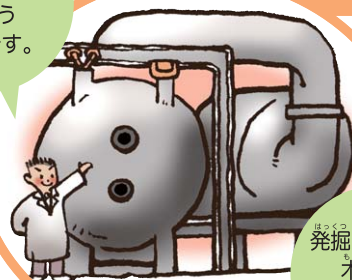
そうやねん。
こんな
お仕事してんのが
なぶんけん
なんやで！

きっちり
くわしく
でてきたものを
記録します。

柱の穴が
見つかった
ところには
木を植えてるね。

土器も
出たよ！

これは
真空凍結乾燥機
という
機械です。



発掘で見つけた
木製品を
そのままの形で
残します。

これって、
カップラーメンを
つくるのと
同じ方法なの！？



奈良時代の瓦

奈良時代の木簡

